



大好きいっぱい チーム愛宕



愛宕小学校校長として2年目を迎えることとなりました、細井鶴貴です。本年度また新たなメンバーが加わり、新たな気持ちで令和5年度がスタートしました。「チーム愛宕」として、子供たちの幸せの実現のために精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



4月6日（木）、新任式・始業式については雨天のため、テレビ放送にて行いました。新任式では、本日みえた2名の先生の挨拶がありました。子供たちに負けないくらいの元気いっぱいの先生方です。これからが楽しみになりました。始業式の校長式辞では、大きく3つのことについて話しました。①「大好きいっぱい チーム愛宕」を合言葉に昨年度よりさらにいい学校にしていこう。②1学期に特に頑張りたいこととして「ありがとう」が溢れる学級・学校に。③「あいさつ」を昨年度以上に。もっともっといい学校になるように。その後の担任発表。ここが一番気になるころでしょう。発表のたびに子供たちの歓声が放送室まで聞こえてきました。新担任が教室に入ると拍手。この雰囲気がとてもいいです。温かい心をもった子供たちに感謝します。



続いて入学式です。新たに33名が新1年生として仲間入りです。まずは、新6年生の大切な仕事として新1年生の誘導がありました。お兄さん、お姉さんらしく丁寧に寄り添いながら対応できました。最高学年の自覚が芽生えてきます。こうした機会を多くつくり、子供たちの成長を促していきます。式が始まり、校長式辞では、新1年生に向けて2つのお願いについて話しました。①「なかよく」と②「話をよく聞く」です。なかよくするための魔法の言葉は「ありがとう」です。この言葉がたくさん溢れる学校にしていきたいと思います。二つ目の話をよく聞くことについては、すでにできていましたが、これをずっと続けてほしいと思います。まずは聞き、そのことについて自分でよく考え、そこから言動表現につなげていく。まずは、聞くことが全ての始まりです。最後に、1年生歓迎の言葉は6年生の成瀬さんでした。これからの学校生活が楽しみになるようなワクワクする内容で、すてきな歓迎の言葉でした。ここでも6年生の最高学年としての自覚を強く感じました。



「大好きいっぱい チーム愛宕」子供たちにはいろいろなことに興味をもって、好きなことを増やしてほしいと思います。好きになるとそれがだんだん上達し得意になり、自信となっていきます。人は、ひとつでも得意なことをもつことでそれが自信となり、人間を大きくします。大好きがいっぱいになることを願います。また、チームで力を合わせることの大切さを、子供たちに実感してほしいと思います。一人の力ではできないこと、自分の苦手なこと、それらを互いに補いながら助け合っていく。互いを認め合える温かい学級集団の実現を図ります。加えて、1学期は始業式でも話したように、「ありがとう」「あいさつ」に力を入れていきます。これらの言葉が溢れる愛宕小学校にしていきたいと思っています。